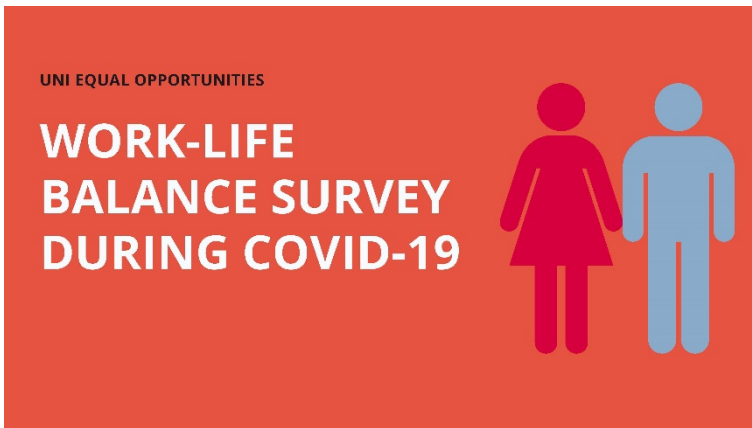
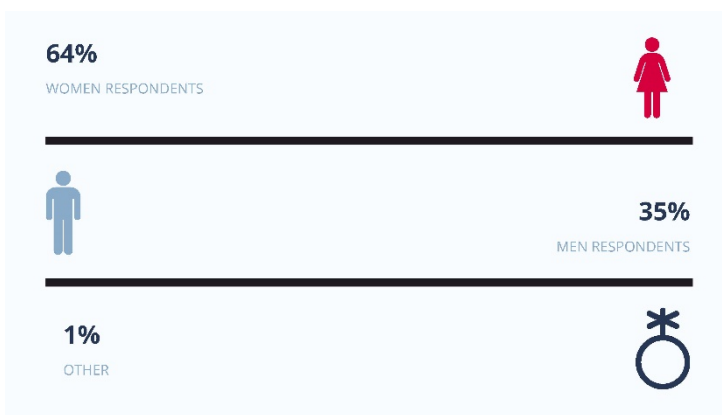


UNI 機会均等局 「コロナ禍におけるワークライフバランス」アンケート結果



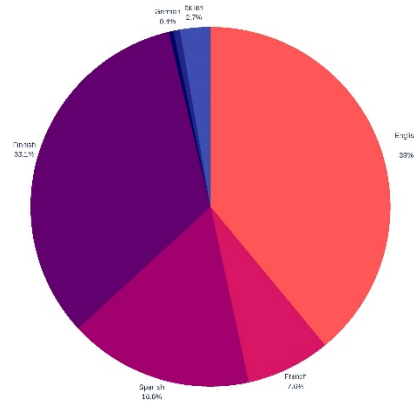
先般、UNI 機会均等局が実施したアンケートに約 5000 件の回答をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございます。お陰様で、サービス産業において COVID-19 がワークライフバランスに及ぼした影響について把握することができましたので、結果を簡単にご報告申し上げます。



回答者性別

5000 人の回答者の内訳は、女性 64%、男性 35%、その他 1% でした。

By Language



回答言語

アンケートは英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、フィンランド語、ドイツ語で実施され、最も多かった回答言語は英語（39%）でした。日本人の回答も英語に含まれています。

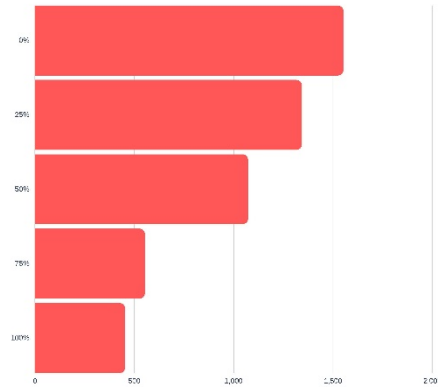


10 人中 7 人が在宅勤務に

約 70% がパンデミック期間中に在宅勤務となり、3 人に 1 人は配偶者やパートナーも在宅勤務となりました。

Increase in household work

FOR 69% OF ALL RESPONDENTS HOUSEHOLD WORK HAD INCREASED IN DIFFERENT DEGREES



家事の増加

在宅勤務になったことで、69%がパンデミック期間中、家事労働が増えたと言っています。

うち13%は通常時の2倍に増えたと回答しています。

45%

of all respondents had children not attending school

35%

of all respondents had to search for additional childcare

44%

of all respondents had to take time to study with their children

beautiful.ai

育児は仕事量に重大な影響をもたらした

子どもがいると回答した人のうち45%が（通常は学校・保育園等に通っていて）現在は家で過ごしている子どもを持ち、35%が通常以上の保育・育児ケアを探す必要に迫られ、3人に1人が通常以上に子どもの学業の面倒を見た、と回答しています。

1 out of 3

OF ALL RESPONDENTS HAD SUFFERED FROM SOME DEGREE OF INCOME LOSS

3人に1人は収入が減った

パンデミックとロックダウンの措置は、多くの回答者の収入にも影響を及ぼしました。35%が、ある程度の収入減に見舞われました。



50%

OF ALL RESPONDENTS HAD TO DEVELOP ADDITIONAL DIGITAL SKILLS AND KNOWLEDGE DURING THE PANDEMIC

半数はデジタル知識が向上

アンケートから、パンデミックが全ての労働者のワークライフバランスに大きな影響をもたらしたことが明らかになりました。

仕事量の増加だけでなく、育児や収入減という別の課題も生じました。また、デジタルスキルの更なる向上の必要性も明らかになりました。

全回答者の半数が、パンデミックの結果、デジタルスキルや知識が向上したと答えました。